

# シーリングニュース



子青



## 目次

- 第4回シーリング管理士  
第2回シーリング技術管理士 } の誕生……………2～3
- シーリング材の適材適所（討論会）……………4～6
- 海外技術文献紹介（その2）……………8～22
- 新理事・役員候補の決定……………23
- 業界動向……………7
- 本部・支部の動き……………24
- 刊行物の案内・工業会の概要……………25・26



## 第4回シーリング管理士誕生!

去る2月7日(土)から10日(火)までの4日間、新大阪チサンホテルにおいて、第4回シーリング管理士養成講習会及び試験を実施した。受講者74名が参加し、最終日の2月10日(火)の試験を経て23名が合格した。なお2級シーリング管理士が廃止されたので、56年4月以降1級シーリング管理士の資格名称は「シーリング管理士」と呼称される。

## 第2回シーリング技術管理士誕生!

第4回シーリング管理士養成講習会と合同で、工業会会員会社々員を主対象とした第2回シーリング技術管理士養成講習会及び試験を実施した。講習には47名が参加し、試験の結果、シーリング技術管理士20名が誕生した。



### シーリング管理士合格者上位5名

- ①山領知行 昭和日本化成(株)
- ②鈴木隆男 (株) 石田シール工事
- ③八田次郎 加賀防水工業(株)
- ④黒木俊行 大源工業
- ⑤下田敏彦 ビージェーエ工事(株)

### シーリング技術管理士合格者上位5名

- ①久野二郎 トーレ・シリコーン(株)
- ②清水千之 東芝シリコーン(株)
- ③石坂和夫 信越化学工業(株)
- ④山崎保充 ティパ化工(株)
- ⑤与儀守信 日東ポリマー工業(株)

※上位5名は第18回通常総会(5/20)にて表彰される予定である。

# シーリング管理士 合格者名簿

(23名)

## ■仙台支部

千葉忠男 (有)丸本工業所

## ■東京支部

吉原直行 アルファ産業(株)

石田 実 (株)石田シール工事

鈴木隆男 〃

名倉 茂 (株)ジックス

伊藤 孝 大一工業(株)

勝視益明 平沢コーキング工業(株)

木村芳孝 マサル工業(株)

中沢文隆 〃

## ■名古屋支部

朝倉英心 朝日物産(株)

八田次郎 加賀防水工業(株)

粟戸 裕 (株)志水化工

清水茂喜 〃

坂口 貢 (株)日本ビルサービス

## ■大阪支部

長棟利彦 大阪工業(株)

松川光雄 (有)高分子工材

北川和弘 嶋沢シーリング商会

吉田 功 (株)大協建材

黒木俊行 大源工業

井上信夫 白洋建材(株)

## ■広島支部

長島隆良 丸福建材工業(株)

## ■福岡支部

山領知行 昭和日本化成(株)

下田敏彦 ビージェー工事(株)

# シーリング技術管理士 合格者名簿

(20名)

勝又賢次 コニシ(株)

小林保夫 〃

中野信二 〃

石坂和夫 信越化学工業(株)

佐藤和治 〃

鳥屋幸男 〃

上田 武 テイパ化工(株)

北野真一 〃

山崎保充 〃

小笠原義治 東芝シリコーン(株)

小野部盛雄 〃

清水千之 〃

久野二郎 トーレ・シリコーン(株)

広田正行 〃

与儀守信 日東ポリマー工業(株)

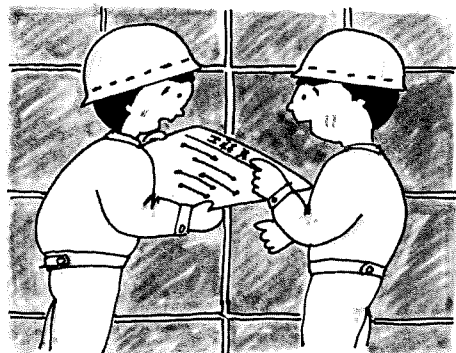
藤野慎二 早川ゴム(株)

山室義行 ポスチックジャパン(株)

渡部高久 山内ゴム工業(株)

羽原吉雄 横浜ゴム(株)

大原光良 ヨコハマゴム工業品関西販  
売(株)



# 「シーリング材の適材適所」

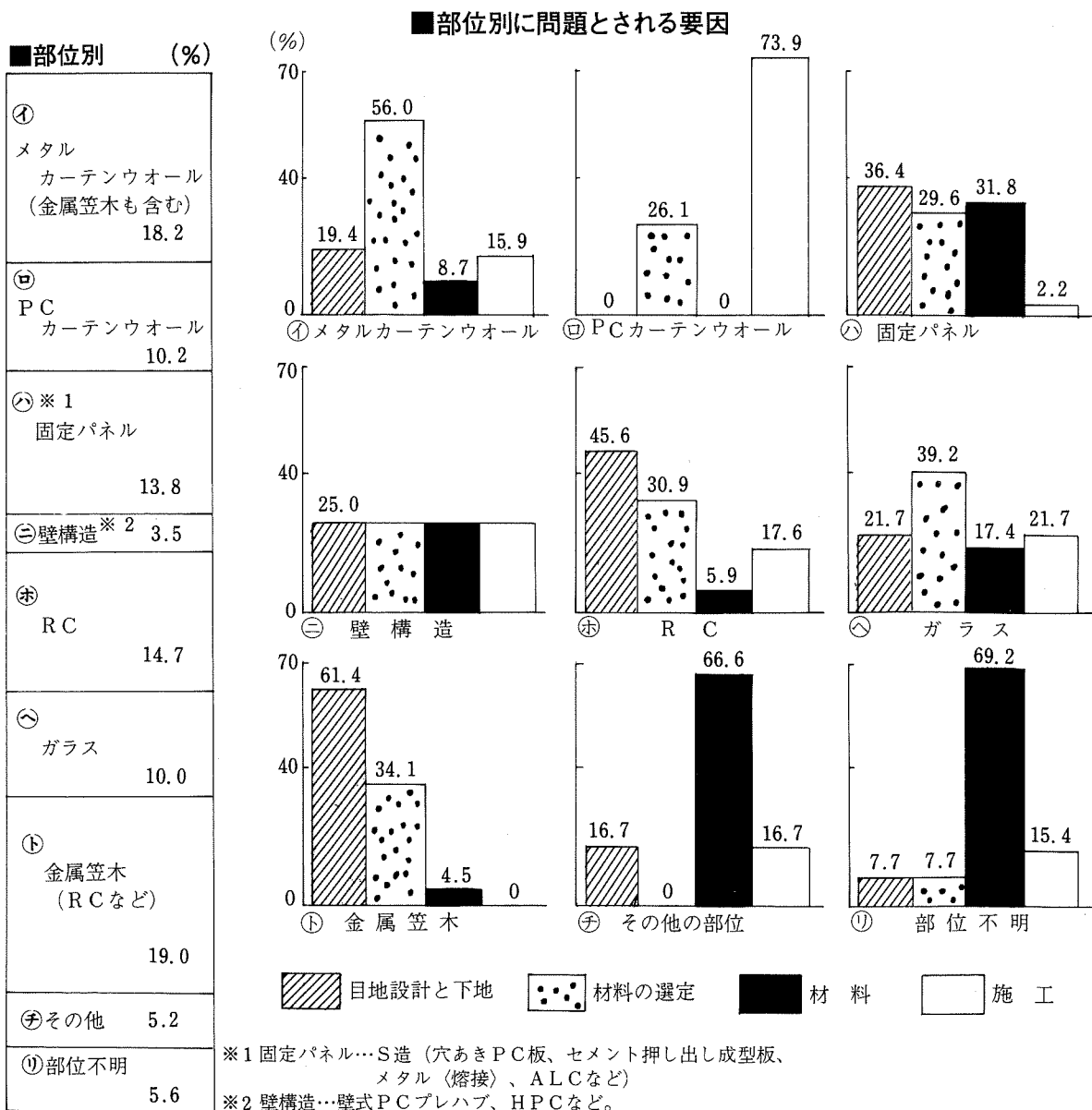
## 討論会のまとめ

さる2月7日から10日までの4日間、新大阪チサンホテルにおいて、第4回シーリング管理士、第2回シーリング技術管理士養成講習会が開催されたが、これは期間中の2月8日に受講者（121名）全員と講師が参加して「シーリング材の適材適所」というテーマで、経験事例

に基づくグループ討論会を行なったもののまとめである。まとめは日本シーリング工業会の広報委員会、技術委員会、検定委員会による。

グループ討論会は、受講者がそれぞれの経験事例を用紙に箇条書きにしたものを集計して行なわれた。

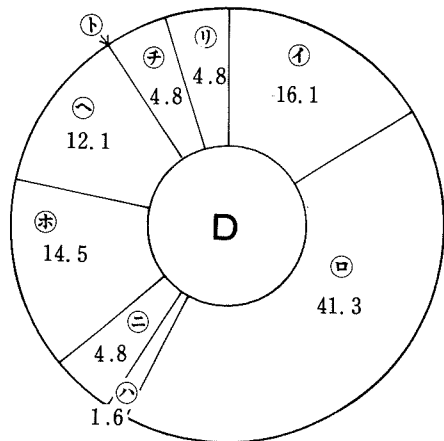
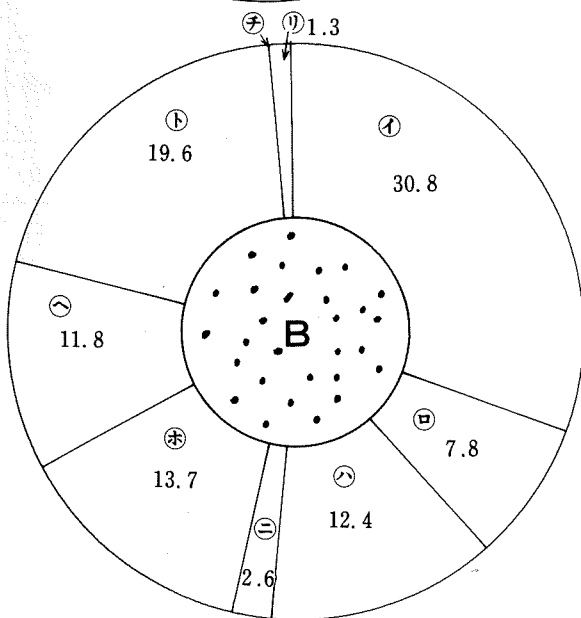
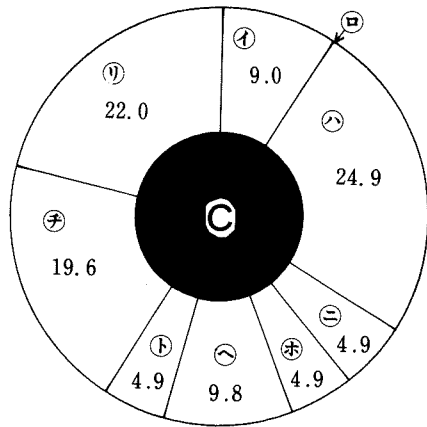
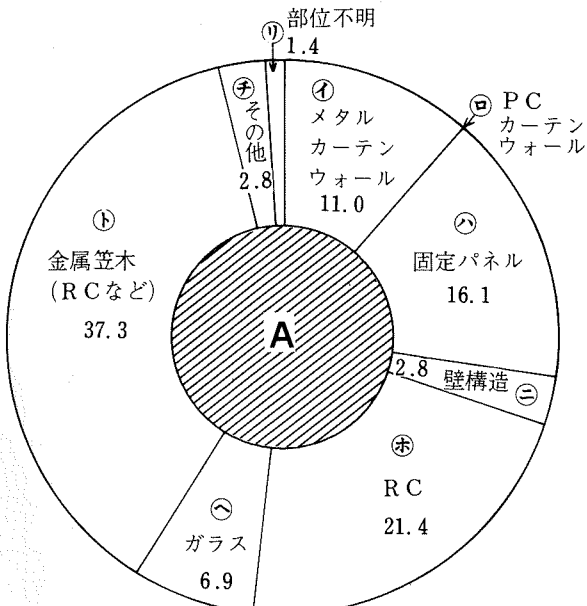
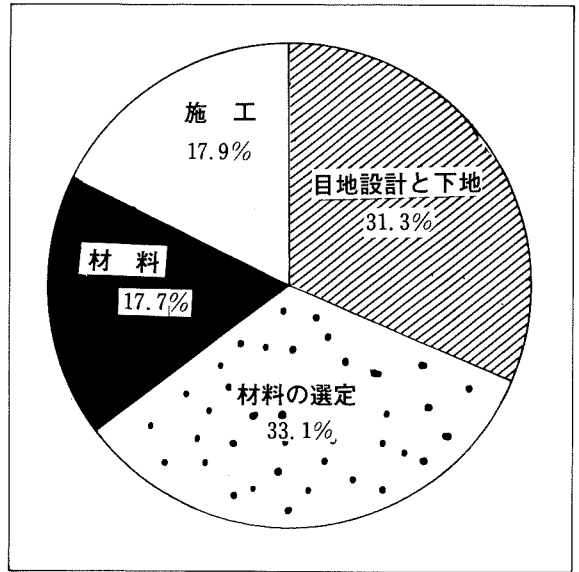
## 提起された問題の部位別、要因別解析結果



# 要因別による解析

## ■ 要因別

- A. 設計上問題となりやすい部位
- B. 材料選定上問題となりやすい部位
- C. シーリング材性能の改良が必要な部位
- D. 施工上問題となりやすい部位



※円の大きさは要因別問題の大きさを示している。

※今回の調査で提起された問題点を上位10位までを選び出してみると、  
下表の如く36項目中、11項目で約70%を占めている。

	部位と要因	割合	問題点
①	金属笠木の 目地設計と下地	11.7 (%)	目地幅と構造の不適合が最大の問題である。
②	メタルカーテンウォールの 材料の選定	10.2	メタルカーテンウォールにおける耐久性の問題で、ポリサルファイドからシリコンへの変遷という現象や工場シールと現場シールの異種シールの打継の問題。また常乾塗装への対応不十分
③	PCカーテンウォールの 施工	7.4	下地状態の確認(例えば、離型剤、吹付塗装、水分など)とその処理方法が不適切。またバックアップ材の形状寸法と納まりにも問題がある。
④	RCの 目地設計と下地	6.7	主として油性コーキング材の打ち替えにおける工法の確立がのぞまれている。
⑤	金属笠木の 材料の選定	6.5	②と同様に耐久性からみたシーリング材の選択に留意する必要があり、また工場シールと現場シールとの打継の問題が指摘されている。
⑥	固定パネルの 目地設計と下地	5.0	塩ビ鋼板、澀青質系パネル、耐久性鋼板などシーリング材の工法が未確立な分野で、一般化していない被着体の問題。
⑦	RCの 材料の選定	4.5	④と同様に油性コーキング材の目地改修工法の未確立である。
⑧	固定パネルの 材料	4.4	ALCに問題が集約される。そこに使用されるアクリルシーリング材の耐久性に関する不安と寒冷地の凍結対策が指摘されている。
⑨	固定パネルの 材料の選定	4.1	⑧と同様に、ALCに対するアクリルシーリング材の適応と弾性シーリング材との打継の問題である。
⑩	ガラス目地の材料の 選定	3.9	ガラス廻りシールのポリサルファイドシーリング材の不適合。 シリコンシーリング材と他の弾性シーリング材との打継の問題。
⑩	不特定部位の材料	3.9	シーリング材表面の塗装が主問題である。
	(上記の合計)	68.3 (%)	上記の指摘された問題点中、材料の選定がほぼ半数(約30%)を占めている。「適材適所」の確立が強く望まれていることが理解できる。

## 「シーリング材の適材適所」

日本シーリング工業会としては、昭和55年度より「適材適所」の確立をすべく、技術委員会にワーキンググループをつくり検討を開始している。シーリング材の保証年限との関連で部位別、シーリング材別基準が昭和56年度末を目標として設定される予定である。

また、現実のこれら諸問題の対処法の普及・徹底をさせるために、より技術情報の交流を盛んにし、新たなシーリング材の認識向上を目指して、ゼネコン、設計事務所などの各関連業界へPR誌等を活用し、積極的に広報していくつもりである。

# 業界動向

項目		最近の動き	今後の動き	寸評
建築着工		不燃建築物だけをみると微増傾向であるが、建築着工統計からみると落ち込み減少傾向を示している。	56年度も楽観を許さない厳しい状況となっている。最近、活発化してきたメンテナンス需要の本格化が期待できそう。	
関連業界	カーテンウォール	メタルカーテンウォールはほぼ横パイで、まだかなり低い水準にある。コンクリートカーテンウォールも横パイといわれているが、実質的には減少傾向と推定される。	PCカーテンウォールが官公庁物件にも採用される傾向にあり、今後の伸びに大きな期待がもたれる。	
	サッシ	新設住宅件数の落ち込みから、需要が低迷しており悲観の見方が広がっている。新需要として改修需要の増加があり、サッシカバー改装工法が本格的に普及されてきた。	頭打ちの新設需要に対して省エネ、騒音対策を含め、補修改築需要が大きなウエイトを占めて行くことも十分に考えられる。	
	板ガラス	普通・変り板ガラスの需要は減少しているが、フロート・みがき板ガラスは順調な伸びを示している。業界は断熱複層ガラス及び合せガラスの需要拡大に積極的である。	複層ガラスの需要増加につなげるには、フォギング現象等の問題を解決していくことが急務である。	
	A L C	生産量は横パイであるが、出荷量は減少している。各地で不燃建築都市建設が進められているが、量的な期待はしにくい状況である。	今後は中高層への採用、戸建住宅向けの開発などによって需要拡大策がとられると思われるが、期待うすである。	
主要シリング	シリコーン	2成分形のシェア拡大が目される。ガラスグレージング用のポリサルファイド系にとって替わるなど明るい材料が目立っている。1成分形のルート販売は伸びが好調である。	石目地などにおける被着体の汚染問題の解決は継続した課題である。	
	変成シリコーン	積極的な市場拡大をはかっているが、ユーザーのこの材料に対する期待度は大きい。	今後が大いに注目されよう。	
	ポリサルファイド	最近は大物件こそ少なくなったものの用途の底辺が広がり、増々汎用化をたどっている。	かつての油性に代り、建築用シーリング材の中心的地位を占めている。	
	ポリウレタン	高い伸び率を示し、さらに増加している。1成分形が好調で一戸建プレハブ住宅や小規模物件などの建材ルートが期待されている。2成分形はPC板目地への用途が確立されてきたといってもよい。	他の弾性シーリング材に比し、価格的に優位に立っているのが注目されるが、各社の競争が激しくなるものと思われる。	
	アクリル	低価格である利点を生かし、一般用途にも一部使用されているが、量的な面では大きな変化はない。	A L C板の出荷量が頭打ち傾向をみせており、今後の動向は楽観を許さない。	
	油性	ユーザーの要求性能の高度化により大規模物件で使用されることは少なくなっている。	需要の回復は期待されない。	

# シーリング材

## Sealing compounds (その2)

AJ Information Library

Aug. 1, 1979 (p 243~p 259)

技術委員会：高野敏明

新しいシーリング材が——特には耐候性という特性を改善するために——次から次へと開発されている。この総説では、ケビン・ニモ (KEVIN NIMMO) が建物の垂直面突き合わせジョイントに用いられる、1成分形、2成分形のシーリング材、および\*目地仕上げマスチックについて詳述している。

\*Pointing mastics—目地表面をモルタルやシーリングコンパウンドなどで仕上げることをポインティングという。化粧仕上げの意味合いが強い。グラウティングと対比される——訳者注。

水平面、例えば床の目地用の流動型(注ぎ込みのできる)シーリング材、および敷き (Bedding) コンパウンドについては触れていない。

尚、編集はクリス プールトン (CHRIS POULTON) による。

### ▶目次◀ (太字は今回掲載分)

1. 最近の開発状況
  - 1.1 シーリング材の目的
  - 1.2 旧来の製品
  - 1.3 最近の製品
  - 1.4 新しい英国規格 (New British Standards)
  - 1.5 将来の傾向
2. 設計用データ
  - 2.1 シーリング材の選択
  - 2.2 屋外曝露の影響
  - 2.3 目地仕上げマスチックの使用法 (選定と仕様)  
被着材の確認、マスチックの選択、目地幅、被着面の前処理、仕上げ
  - 2.4 ムーブメントジョイント用シーリング材の使用法 (選定と仕様) ムーブメントの計算、シーリング材の選択、目地幅、目地深さ、プライマー、仕上げ
  - 2.5 仕様決定者に役立つ英国規格
  - 2.6 参考文献
3. 製造業者からの情報
  - 3.1 適用用途と仕様の一覧表
  - 3.2 シーリング材製造業者名簿 (所在地)

### ▶用語解説◀

シーリング材に関する用語の中には、よく使われている割には十分理解されていないものがある。以下に主なものについて記す。

用語	意味
シーリング材	施工されシールを形成する製品で次の形態がある。 ●粘稠な液体 (注ぎ込み施工) ●ペースト (手施工またはガン施工) ●成形 (pre-formed) ストリップ (塑性のもの) 但し成形ガスケット、発泡体ストリップは除く。
硬化 (Cure)	施工後、シーリング材に起こる変化。塑性が減少し弾性が増加する。
塑性	物質が外力の影響で流動し、新しい位置と形にとどまる性質。
弾性	物質が外力の影響で変形し、外力を除いたとき、元の位置と形に戻る性質。
シーラント	シーリング材のうち施工後硬化して耐久性、目地変動に対する追従性が良好なもの。
マスチック	シーリング材のうち施工後固化し、わずかな動きにしか追従しないもの。
敷きコンパウンド (Bedding Compound)	シーリング材のうち、施工後ほとんど変化せず、耐候性や目地変動に対する追従性を期待できないもの。
1成分形	市販形態のまま使用可能なもので
シーラント	●保存中に硬化が起らぬような容器に入っており、容器を開封することにより硬化が始まる。 硬化は次のいずれかで始まる。 ●溶媒の蒸発 ●空気または湿気との化学反応 硬化は大気に接した表面で始まり、その速度は以下の要因で決まる。 ●硬化機構 ●不透湿物あるいは副生物による硬化抑制 ●温度/湿度 ●目地におけるシーラントの断面
2成分形	二つの成分は定められた比率になっており、またバッチ番号によりマッチング (指定組み合わせ) されて市販供給される。
シーラント	●硬化は2成分の混合によって開始される。施工は硬化が進みすぎないうちに行なわねばならない。硬化速度に及ぼす要因は ●硬化機構 ●温度



## 2. 設計用データ

### 2.1 シーリング材の選択

表一VはA J (英国の建築雑誌) の1967年8月2日号の「外部ジョイント用マスチック」で初めて掲載された表の最新版である。この表は、この総説で扱っているシーリング材のリストとしても有用である。第3章に記す製造業者の情報と共に、この表はマスチックの選択(2.3(2))やシーラントの選択(2.4(2))を行なう時に使用することができる。

### 2.2 屋外曝露の影響

シーリング材の耐久性は、組成によって大きく変わるものであり、類似の製品であってもメーカーが異なると屋外曝露による影響の受け方が全く違うこともある。屋外曝露による変化の最初の徴候が出たからといって、シーリング材やマスチックを施工しなおす必要があるとは限らない。

表一Ⅲ中には、屋外曝露の影響が示されているが、いくつかのマスチックが曝露で何故大きく劣化し易いのが理由づけられている。

本章の残りは、目地仕上げマスチックとムーブメントジョイント用シーラントに分けてある。両者の使用目的と選択方法が異なっているためである。材料の選択方法の記述は、実際に選択を行なう時に都合が良い順序でステップごとに示してある。

### 2.3 目地仕上げマスチックの使用法(選定と仕様)

#### (1) 被着面の確認

枠：材料、表面処理、保守状態

壁：材料、表面の荒さ、きめ、公差

充てん用マスチックが接着することになる表面の正確な性質を完全に理解しておくべきである。

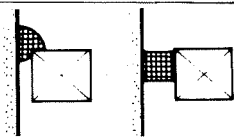
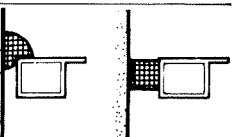
●代表的な枠表面と一般に行なわれているその表面処理について(目地設計およびシール作業の観点から)表一Ⅳにまとめる。

●壁表面の場合、材料や上塗りは表面の「きめ」ほどには重要でない。「きめ」が荒くなるほど凹凸が大きくなり、それゆえに目地幅のバラつきも大きくなる。(3) “目地幅”を参照のこと。

表Ⅲ 代表的シーラントの屋外曝露の影響

種類	屋外曝露の影響
ビチューメン系	揮発分が徐々にぬけて、収縮が起こりかたくなる。
油 / レジン系 (Oleoresinous)	オイルの酸化により、表面は皮膜を形成する。内部は、10年くらいは液状を維持する。通常の上塗り塗装で、耐久性は向上する。マスチックの内部まで硬くなると、収縮やクラックが発生する。
アチル系 (敷き用)	揮発分が飛んで収縮が起こる。オイルが他部材に移行して、汚染することがある。
アクリル系 (溶剤タイプ)	揮発分が徐々に抜けて、硬さが増し、若干収縮する。ほこりが凹みにたまり、ひび割れのように見えることになる。
アクリル系 (エマルジョンタイプ)	若干の収縮が起こる。硬化後は、強いゴム状になる。チョーキングや表面の細かい亀裂によって、経過期間を推定できる。
1, 2成分形のポリウレタン系およびポリサルファイド系	硬化後には、大きな変化はないが、一般に表面のひび割れやチョーキングが起こる。
シリコン系	大きな変化は起こらないが、汚れの吸着が目立つことがある。
複合シーラント	耐候性は組成によって、大きく変わるが、表面のひび割れがよくみられる。
抗菌性シーラント	カビ、菌など生物学的に活性な溶液に触れても耐え、分解することのないシーラントである。屋外に完全に曝露される場合は、表面にひび割れを起こすことがある。

表Ⅳ 窓枠表面の典型例

材料と処理	コメント	シール形状
木材		
下塗りペイント塗装	建具作業時に、木枠面に下塗りされ、すえつけた後で、マスチック充てん、さらに上塗りが行なわれる。	✓ ✓
完全塗装	建具作業時に木枠面に下塗りされ、すえつけた後上塗りが行なわれる。最後にシールを行なう。	✓ ×
防腐処理 / 着色	処理は①建具作業時②現場(取付前)③現場(取付後)に行なわれる。	✓ (除く③)
オイル / ワニス	例えば「ハードウッド」枠の場合、処理は上記3段階のいずれも行なわれることがある。	✓ (除く③)
金属		
下ぬりペイント塗装	すえつけ後に充てん、その後で上塗りする。	✓ ✓
完全塗装	すえつけてから完全に上ぬり塗装し、最後にシールする。	✓ ×
陽極酸化アルミ	すえつけて、そのままシールする。	✓ ✓
工場上塗り / 樹脂コート	ポリエステル、エポキシ系などの焼付塗装。初期には、保守の手間が少なくてすむ。	✓ ✓
樹脂	ふつうは塩ビ。保守が不要。	✓ ✓

表V シーリング材の選定

種類	ここに載せてある全てのシーリング材について、一般の建材に対する接着性は下記のものを除いて、普通きわめて良好である。プライマーが必要なこともある。	実用上の最大伸び 目地幅に対する%。	垂直 ジョイントの 最大目地幅 (mm)	ムーブメントジョイ ントでの推定寿命 (年)
ビチューメン系		10	18	外部のムーブメント目地には不適、2年以下の寿命しかないため。
油性	アルミ：バラつきが出る。しっかりした製品では接着良好。	10	一般に18~25ミリだが、特殊グレードでは50ミリ。	10 to 15
ブチル	アルミ：バラつきが出る。しっかりした製品では接着良好。	10	18	2 to 8
アクリル (エマルジョンタイプ)	アルミとガラスは悪い。	10	18	10 to 20
アクリル (溶剤タイプ)	-	25	一般に18ミリ。注意深くやればそれ以上も可。	20+
ポリサルファイド (2成分形)	ガラス：悪い。	33	通常25ミリ。しかし特殊な技法を使えば、それ以上の目地も充てん可。	25+
ポリサルファイド (1成分形)	ガラス：悪い。	25	18	20+
ポリウレタン (2成分形)	-	33	通常25ミリ。しかし特殊な技法を使えば、それ以上の目地も充てん可。	20+
ポリウレタン (1成分形)	-	33	18	20+
シリコーン 高モジュラス (1成分形)	アルカリ質の材料を侵すものがある(酸タイプ)。	15 to 25	通常25ミリ。しかし特殊な技法を使えば、それ以上の目地も充てん可。	25+
シリコーン 低モジュラス (2成分形)	-	33 to 50	通常25ミリ。しかし特殊な技法を使えば、それ以上の目地も充てん可。	25+
複合シーラント (2成分形)	ガラス：不適	製品により変わる。	製品により異なる。用途は主に、水平目地に制限されている。	20+
抗菌性シーラント (2成分形)	ガラス：不適	25	通常25ミリ。しかし特殊な技法を使えば、それ以上の目地も充てん可。	20+

実用化後の年数	使用時の準備	硬化特性	後塗装性	汚れ付着性と色の保持性
100+	特に準備は不要。	皮膜を形成する材料もある。材料は柔軟性・可塑性を維持せねばならないが、表面から内部へ次第に硬化してゆく。	ブリードするので不適	タックが残ってヨゴレを吸着するものがある。その他のものは白い粉吹き現象がひどい。
60	特に準備は不要。	表面の皮膜形成は普通施工した日のうちに始まる。材料の内部は何年も柔軟性と可塑性を維持せねばならない。	皮膜形成後ならば、一般に問題なく塗装できる。オイルがブリードすることもあるが、塗装により材料の寿命が長くなる。	汚れ付着性に関する問題はない。皮膜形成が進むにつれて変色がつづき止まることはない。
30	特に準備は不要。	溶剤が揮発して皮膜を形成するものと皮膜を作らないものがある。材料は柔軟性と可塑性を維持せねばならない。	後塗装は難しいが、うまく塗装できればヨゴレの吸着を減少させられる。	汚れの付着は多くなりやすく、表面は汚れの黒い付着層になる。材料それ自身の色保持性は高い。
15	特に準備は不要。	水分が表面から蒸発したり、多孔質材料に移行して硬化する。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	汚れ吸着はほとんどない。
20	使用直前に47℃の加熱を要することもある。	常温に冷えると即座に硬化し、その後溶剤が揮発することですらに硬化が進む。ハードニング現象が表面から内部に少しずつ進んでゆく。	適切な塗料を選んでコーティングできる。しかしムーブメントが大きいとひび割れを生じやすい。	汚れは非常に付着しやすい。表面をコーティングしても完全な対策にはならない。コーティングに亀裂が生じるとそこに汚れが付着するからである。
35	ベースと硬化剤は、別々になっており、使用直前に、完全に混合せねばならない。	ベース、硬化剤混合後、材料はそれ自身で硬化してゴム状になる。普通の条件下で硬化に1〜7日間を要するが、その間重量はほとんど変化しない。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	汚れ、吸着なし。白色は変色しやすい。
15	特に準備は不要。	空気中から吸収した水分により、3〜14日で硬化してゴム状になる。硬化は表面から内部へ進む。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	一般に汚れはつかない。白色は変色しやすい。
15	ベースと硬化剤は、別々になっており、使用直前に、完全に混合せねばならない。	ベース、硬化剤混合後、材料はそれ自身で硬化してゴム状になる。普通の条件下で硬化に1〜7日間を要するが、その間重量はほとんど変化しない。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	一般に汚れはつかない。
15	特に準備は不要。	空気中から吸収した水分で硬化する。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	一般に汚れはつかない。
25	特に準備は不要。	空気中から吸収した水分で硬化する。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	汚れ付着性は大きい。色の保持性は白色のものでさえも高い。
5	特に準備は不要。	空気中から吸収した水分で硬化する。	後塗装可能だが、ムーブメントが大きいと塗面がひびわれることがある。	汚れ付着性は大きい。色の保持性は白色のものでさえも高い。
20	ベースと硬化剤は、別々になっており、使用直前に、完全に混合せねばならない。	ベース、硬化剤混合後、材料はそれ自身で硬化してゴム状になる。普通の条件下で硬化に1〜7日間を要するが、その間重量はほとんど変化しない。	ブリードするので不適	ベタつきが残って、汚れを吸着するものが時々ある。
5	ベースと硬化剤は、別々になっており、使用直前に、完全に混合せねばならない。	ベース、硬化剤混合後、材料はそれ自身で硬化してゴム状になる。普通の条件下で硬化に1〜7日間を要するが、その間重量はほとんど変化しない。	不適	ベタつきが残って、汚れを吸着するものが時々ある。

## (2) マスチックの選択

フレーム材質や処理をふまえて暴露（度合）やメンテナンス計画に合わせて

マスチックは全ての表面に対し良く接着しなければならない。表Ⅵに示した例は直接の風雨にはさらされない状態での暴露の場合である。もっと厳しい環境下ではより高性能、高耐久性を有するマスチックが要求される。

表Ⅵ 目地仕上げマスチックの用途

目地仕上げ用途	コメント	推せんされる種類
●現場塗装の木製枠	●旧来のレンガ造中の木製フレームまわりの充てん、目地仕上げなどから次のことがわかる。 ●窓わくは取付け後塗装。 ●マスチック上に塗装が必要。	油/レジン系
●現場塗装の金属製枠	●状況は上に同じ	油/レジン系
●防腐剤入りステイン処理木製枠	●状況は上に同じ ●マスチックは処理面にも良く接着すること。 ●マスチックは保護塗装なしでも耐久性のあること。 ●処理された木材のムーブメントは塗装された木材よりも大きいかも知れない。	アクリル
●陽極酸化アルミ製枠	●状況は上に同じ ●暴露の程度、機会がより多くなる。 ●保守は予定されない。	アクリル
●工場塗装金属製枠 工場施工の仕上げ処理はいくつかの異なったタイプがある。	●金属製枠への工場施工の仕上げ処理。 ●長期メンテナンスフリーとして設計されている。 ●目地仕上げマスチックは枠と色合わせ必要がある場合あり。	アクリル
●屋内用枠および間じり	●耐久性は必須条件ではない ●安全性、難燃性、臭いが重要項目。 ●塗装性必要な場合あり。	水性アクリル、シリコン（塗装しない場合）

## ▶表Ⅵの注

- 目地仕上げ充てん用マスチックはa)仕上げ処理された枠とb)その枠が取り付けられる壁の双方の表面に接着しなければならない。
- レンガおよびブロック造の壁は、表面に凹凸があり、従って目地幅も一定しない。
- 上記理由から最小目地幅確保のためにも目地幅をせまく設計してはいけない。およそ6mmが一般に最小15mmが最大目地幅である。
- 冒頭の注に記した理由でプライマーを使って接着性を向上しようとする場合でも双方の表面に別々なプライマーを使わなければならないというのでは実用的ではない。
- 目地仕上げ充てんマスチックに、特別指定のプライマーを使わねばならないとか、それ程重要性が高くない工事なのに、指定条件絶対厳守を期待するのは実際的ではない。
- 実際問題、目地仕上げ充てんでは、プライマーを使用しない方式が指定されるべきである。
- 表Ⅵ中の製品は普通はプライマーなしで施工する。他のマスチックも使用可能であるが、プライマーが必要となるかも知れない。
- アクリルシーラントは、メンテナンスを考えていない場合に適用したらよい。溶剤タイプのアクリルシーラントはプライマーを必要としないが、水性アクリルは、多孔質でない素材表面へ適用する場合は、前処理が要求される場合がある。（素材メーカー問い合わせ）

## (3) 目地幅

フレーム/壁面の目地幅は、マスチックのメーカーの推奨に従って決める。シール材の充てん深さの決定も同様に行なう。

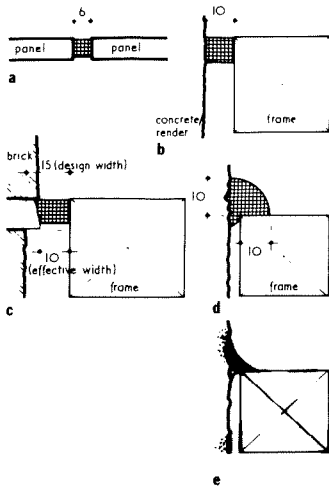
目地仕上げ充てん用マスチックの一般的に妥当とされる目地幅は10mmである(図8b)。



6. 適正な目地設計が望まれる。



7. マスチックの耐久性を阻害する使用例。



8. 仕上がり寸法 (mm) は壁面や枠に合致したものが要求される。

取付公差を小さくできるならば、材料節約のために目地幅を6mm以下にすることも可能であろう (図8 a)。

取付公差がはっきり規定できない場合、表面が加工されたり凹凸がある場合は、目地のどの部分でも良好なシールが保証されるためには、15~18mmの目地幅が必要である (図8 c)。

レンガ造における適正目地幅は18mm、ブロック造においては15mmである。

三角目地仕上げの場合、それぞれの被着面に対し10mmの接着代を持たせる。そして断面を凹状だけでなく凸状に仕上げる (図8 de)。

#### (4) 被着面の前処理

下地処理方法と施工してはならない気候条件とについて規定する。

- マスチックメーカーの指示に従って下地処理を行なう。
- どんな場合も表面はきれいであればならない。
- ほとんどのマスチックにとって、表面が乾燥していることは大切なことである。但し、水性アクリルエマルションについては、初期の一時的な湿気は問題ない。
- どのマスチックも、極端な温度条件で施工してはいけない。5℃が実用上最低温度であり、それ以下になると粘度が上昇し、施工が困難となり、結果も信頼できない。5℃以下では、たとえ見た目にはわからなくても、結露が起きているかもしれない。化粧仕上げされている表面を汚さないため、あるいは清掃時間節約のために、マスキングテープの使用を指定した方が賢明かもしれない。

#### (5) 仕上げ

仕上げ方法を規定する

- マスチックは充てん後外観の見ばえを良くするための仕上げをしなくてすむように施工するのがよい。化粧仕上げされていたり凹凸がある場合および複雑なコーナー部などは、ヘラ仕上げ自体が困難なことも多い。
- (特に油/レジン系の場合) 充填したマスチックに皮膜が形成されれば塗装可能になる。この状態になるまでの時間は、シーリング材の銘柄、気象条件により大きく変わるので、現場で様子を見て決めなければならない。

### 2.4 ムーブメントジョイント用シーリング材の使用法 (選定と仕様)

#### (1) ムーブメントの計算

速さ/頻度を分類し、ムーブメントを計算する。

予想されるムーブメント量の計算に際しては、少なくとも次の項目を考慮する。

- 温度
- 湿度
- 乾燥収縮
- 長期の伸長
- (建物や壁などの) 落込み

ムーブメントが生ずる場合、その速度については次のように分類する。

- 遅い動き
- 早い動き

例えば、日単位のものか、時間単位かというようなムーブメントの頻度についても考慮すべきである。これらの要因は、検討の対象としている建物に使用されている素材に関する情報——その質量、厚み、断熱、暴露状態などから決定される。

軽量の金属およびプラスチックのムーブメントは早く、頻度も多いのに対し、がっちりした石造などでは、ムーブメントは量として両者が同じであったとしても遅く、頻度も少ない。

#### (2) シーラントの選択

ムーブメントの速さ/頻度およびタイプにしたがってシーリング材を選択する。

- 遅い/低頻度のムーブメント: 1成分形シーリング材あるいは下記による。
- 早い/高頻度のムーブメント: 2成分形シーリング材およびシリコン。表VIIは動きのある目地のクラス分けとそれに適したシーリング材を示している。

#### (3) 目地幅

ムーブメントに適応させるための目地の数および幅を算出し、その目地幅で (選定した) シーリング材が使用

できることを確認する。全ムーブメント量の計算とシーリング材の種類選定が終了したので、製造業者が設定している動きに対する適応係数\* (the movement accommodation factor) を入手する。(3.1の製造業者情報を参照)

建物ファサードの目地幅の合計は、例題に示すような方法で計算できる。

※訳者注：許容伸縮率の考え方だが、内容は若干異なっているようである。

### ■目地幅の計算例

次の計算は、南面のコンクリートブロック造の壁(長さ90m)の場合であり、縦目地に限定して計算してある。2.4の1項について予想されるムーブメントを考えてみる。

- 温度 熱膨張係数  $9.0 \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$   
(ブロック製造業者の資料から)
- 湿度 重要ではない。無視できる。
- 乾燥収縮 0.035% (ブロック製造業者の資料から)
- 長期拡張 適用不可
- 落ち込み 本計算例では無視

#### <温度ムーブメントの計算>

予想される温度範囲は $-5^\circ\text{C} \sim +30^\circ\text{C}$  ( $\Delta t$  35 $^\circ\text{C}$ )  
90m長の壁の温度ムーブメントは  

$$= 90,000 \times (9 \times 10^{-6}) \times 35$$

$$= 28.35\text{mm}$$

#### <乾燥収縮量の計算>

90m長の壁の乾燥収縮からくるムーブメントは  

$$= 90,000 \times (0.035/100)$$

$$= 31.5\text{mm}$$

壁面のトータルのムーブメント量は(28.35+31.5mm)で約60mmとなる。シーリング材のムーブメントに対する許容値は、製造業者の資料によれば20%である。よって必要な総目地幅は

$$= 60 \times \frac{100}{20} = 300\text{mm}$$

設計戦略上のジョイントを割り当て、残りのジョイントの数と目地幅を選ぶ。

総目地幅 (mm)	目地数	目地幅 (mm)	コメント
300	3	100	目地幅が非常に大きい。
300	100	3	目地幅が非常に小さい。目地数が多すぎる。
300	20	15	平均的目地幅。ただし目地数がまだ多い。
300	12	25	よい妥協点 (注)硬化の遅いシーラントは本目地幅には、一般に不適当。

### (4) 目地深さ

選定されたシーリング材について目地深さを算出する。

シーリング材メーカーの勧告に従って、計算した目地幅に対する適切なシール深さを決定する。ボンドブレイカー、バックアップ材およびジョイントフィラーについてもシーリング材メーカーの推奨に従って仕様を決める。

### (5) プライマー

#### 要求に従って仕様決定

どのシーリング材もシール性向上のために、あるいは各被着面に対する接着性向上のために推奨プライマーが用意されている。プライマー処理に先立つ下地処理も含めて、プライマーについては詳細に仕様を決めるべきである。目地両側をマスキングすることによって、清掃時間が節約でき、加工されたあるいは凹凸のある下地表面の汚れを減少させることができる。(図9)

### (6) 仕上げ

目地にシーリング材を充填した後、その表面をならしあるいはヘラ仕上げを行なうことは有益である。

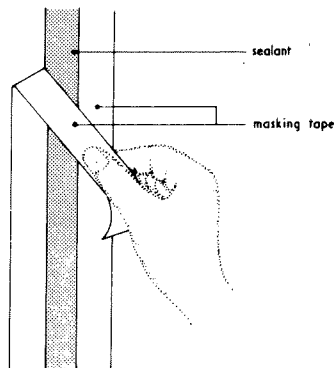
ヘラ仕上げされた平坦な表面は外観がよくなり、表面の不整がなくなることによって耐久性も向上する。また、ヘラ仕上げをするとシーリング材を目地に押しつけることになり、被着面への接着性も向上する(写真10)。

表VII ムーブメントジョイントと適用シーリング材

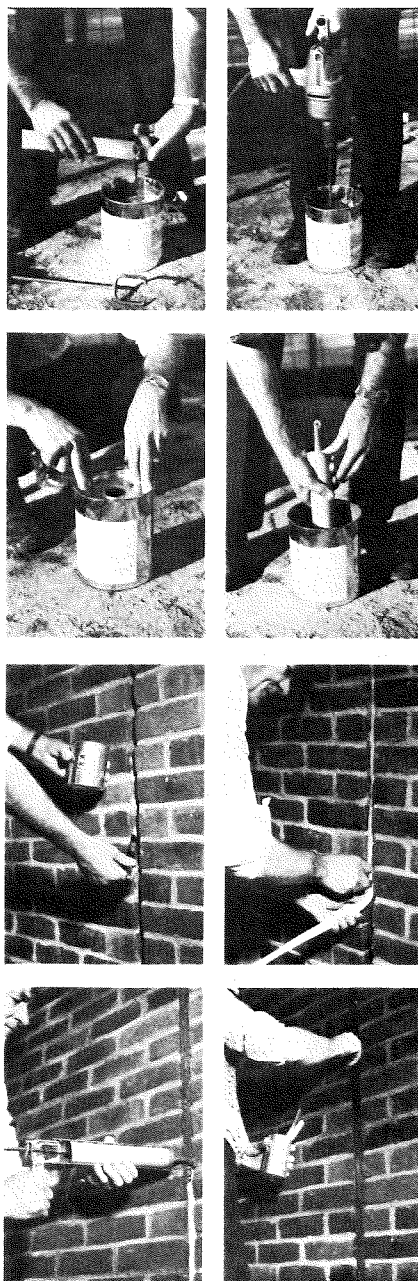
目地の種類	コメント	推せん品種
パネル	枠中への数込みとシーリング	グレーズングとして扱う (ここには該当しない)
カーテンウォール目地 (非構造材として)	早いムーブメントが予想される パネルとフレームの間の目地の シーリング	●シリコーン ●2成分形ポリサルファイド ●1および2成分形ポリウレタン
カーテンウォール目地 (構造材として)	フレームとあいじゃくり、マリ オンなどの間の目地。 早い動きが予想される。	●高モジュラスシリコーン ●2成分形ポリサルファイド ●1,2成分形ポリウレタン
拡張/収縮目地 遅い動き	大きい、重量構造物の目地 動きは周期的または 不可逆的かも知れない。	●シリコーン ●1,2成分形ポリサルファイド ●1,2成分形ポリウレタン ●アクリル ●複合シーリング材
拡張/収縮目地 早い動き	軽量構造、金属、プラスチック 部材の目地	●シリコーン ●2成分形ポリサルファイド ●1,2成分形ポリウレタン

### ▶表Ⅶの注

- グレージングおよび敷込み技術は多岐にわたっており、多くの独得なシステムがある。したがってグレージングとして扱われるパネルの場合では、個々のシーリング材を使うというよりは、慣例にしたがったシステムが使われると言った方が良い。
- 構造的あるいは非構造的カーテンウォールの区別は明確にはつけがたい。ただしいくつかの設計では単なる間隙充てん用としてではなく、接着性を期待してシーリング材を多用している。この場合、シーリング材はくり返しムーブメントに適応できる構造接着材となる。そしてある程度まで、従来から用いられている機械的固着材を置替えるようになる。
- 非構造体のカーテンウォールジョイントは、パネルやフレームが通常機械的固着の要素が残っており、現場でシーリング材を用いて防水処理がなされる。
- 構造体およびそのエレメント間にある動きのある目地は、単なる収縮（コンクリートの硬化、乾燥による）、拡大（レンガ造の経時膨張）あるいはこれらの両方と温度/湿度変化に起因する、周期的ムーブメントの相乗効果に対応しなければならない。もし目地が十分に大きくて、シーリング材がその性能面から十分動きに追従できるならば、どんなシーリング材もそのような、いかなる目地に使っても失敗することはない。しかし硬化が遅かったり、あるいはゴム弾性が不十分だったりすると、ムーブメントが生じた場合、シーリング材は目地から押し出されてしまうだろう。このようなシーリング材が使用できるのは、目地の動きが遅く、硬化のための時間が確保できる場合、または流動し追従できるような場合に限られる。この種の目地は、大型の重量コンクリート造および石造の構造物に存在する。これらの場合、温度によるくり返しムーブメントは、変位をもたらす原因が生じた後かなりたってから現れる。従って、結果的に動きは遅くなり時間的にも拡張される。くり返し性のないムーブメントは常にゆっくりである。
- 動きの早い目地では、シーリング材は充てん後すぐにムーブメントに追従しなければならない。それ故に目地から押し出されることを避けるためにも、早く硬化しなければならない。シーリング材は流れ、そして変形固定を受ける傾向に打ち勝つため、十分な弾性をもたねばならない。早い動きの目地は自立壁の如き軽量構造体、ガラス、金属、プラスチックのエレメント間などに存在し、それらは温度変化、日射、雨および風による冷却などに極めて早く応答する。



9. マスキングテープはただちに除去する必要がある。



10. 2成分形ポリサルファイドシーリング材の施工順序。

## 2.5 仕様決定者に役立つ英国規格 (BS)

利用可能な限りBSの品質管理仕様書に準拠して仕様を決める。以下に英国規格を列記する。

- BS 3712 : 建築用シーリング材の試験方法
- BS 4254 : 1967 建築用2成分形ポリサルファイドシーリング材
- BS 5215 : 1975 1成分形ガン打ちグレードポリサルファイド系シーリング材
- BS 4643 : 1970 建物の目地および目地接合に関する用語解説。
- BS 5385 壁タイル施工法
- 作成中のもの 1成分形シリコーンシーラントー高モジュラス、低モジュラス建築用シーリング材選定の手引き

上記の作成中の2資料は1980年に出版予定である。とかくするうちシーリング材製造業者協議会のために参考資料が作られ、またその会員が使う仕様も作られる。またアグレマン (ユニオン) のために、個々の製品の検定証も作られるかも知れない。

1.4 (新しい英国規格) も参照されたい。(前号)

## 2.6 参考文献

### (1) “外部目地用マスチック”

A J インフォメーション・ライブラリー、情報シート 1520 (A J 2. 8. 1967)

この情報シートは本報表Ⅲで代用できる。

### (2) “シーラントとマスチックの使用手引書”

A J インフォメーション・ライブラリー、情報シート 1603 (A J 5. 6. 1968)

1968年当時で入手可能なシーリング材の広範囲な一覧表があり、長年の間貴重な参考情報源であった。ここに記載されている製品全部ではないが、中には現在入手可能なものもある。また、多くの製品は変貌をとげたが、それは製造業者が組成変更を行ない、改善検討をしたためである。このため、この一覧表はいまでは余り価値がない。現在入手可能な製造業者の最新情報は、表Ⅷから表Ⅹおよび仕様書の当面の問題に関係する部分に求めるべきである。

### (3) “窓/壁ジョイント”

A J インフォメーション・ライブラリー、情報研究、(A J 20. 10. 1974)

窓わく廻りのシール、水の浸透原因およびその対策について特集されており、目地設計について詳述されている。このような目地は、結露防止膜、下塗り、詰め物、しっくい、枠設計等を高度に組み合わせることに

重きが置かれ、従来はほとんど注目されていない分野である。シーリング材やその選定に関しては記載されていないが、この重要な分野の設計者はぜひ目を通しておくべきであろう。

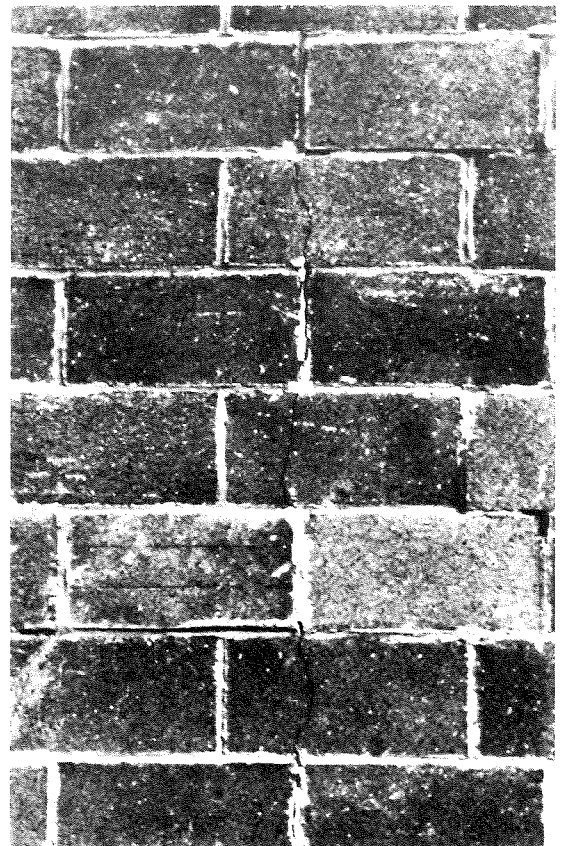
### (4) “シーラント施工における正しい作業手順”

シーラント製造業者協議会作製、シーラント製造業者協議会、建築工業調査情報協会共同発行 (1976年)

## 3. 製造業者に関する情報

### 3.1 適用用途と仕様詳細一覧表

(表Ⅷ~表Ⅹは次頁以降)



11. 過大な強度をもったモルタルブロック造の収縮によるクラック



表Ⅷ 目地仕上げ用マスティック

種類	推せんされる用途					仕様詳細					商品名	製造業者				
	現場塗装木枠	現場塗装金属枠	処理木枠	陽極酸化アルミ枠	工場塗装金属枠	内装枠および間仕切り	目地動き追従性(%)	使用可能温度(℃)	縦・深合せ目地 ・目地幅(mm)	プライマー →(特定被覆体に要) ●●●→(不要)			施工方法 G(ガン) T(ヘラ・コテ) 後塗装 一(推せんできず) ●●●(可能) ●●●(塗装すべき)	梱包(リットル)	推定耐用年数	
ビチューメン/ ゴムビチューメン	●	●		●	●						G	●	0.38	10	Bituminous mastic	Evode Ltd
	●	●		●	●	5	60	25	10	●	G	●	0.38	10	Vertilast	
	●	●	●	●	●	5	115	12	2	●	T	●	2.5	5	Allweather trowel	Shell Composites Ltd
一般用、主として補修						N/I	40	5	0	●	T	—	25	20	Plastic waterproofing compound	Stanleys Ltd
油性/ 油性レジン系	●	●			●	10	95	25	6	●●	G	●●	0.4	10	Arbomast GP	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	●	●	●	●	●	2.5	120	25	6	●	G	●	0.34	8	Berger GP mastic	Berger Chemicals
	●	●	●	●	●	5	60	25	6	●	G	●●	0.33	10	Duramastic	Duraplas Building Products
	●	●	●	●	●	5	50	25	12	●●	G	●	0.38	10	Evomastic B5	Evode Ltd
	●	●	●	●	●	5	50	19	6	●●	G	●	0.38	10	Intucaulk (intumescent)	
	●	●	●	●	●	10	70	20	10	●●	G	●	0.4	15	Secomastic/ Seelostik	Expandite Ltd
	●	●	●	●	●	5	50	25	6	●●	G	●●	0.38	5	Hansil mastic	Hanway Building Products Ltd
	●	●	●	●	●	5	132	25	5	●	T	●	500 mg	8	Glasticon 303	Kelseal Ltd
	●	●	●	●	●	5	130	25	5	●	T	●	500 mg	8	Glasticon 480	
	●	●	●	●	●	5	100	12	5	●	G	●●	0.38	3	Glasticon GP mastic	
	●	●	●	●	●	10	40	20	6	●●	G	●●	0.4	7	Easiseal GP	Ralli Bondite Ltd
	●	●	●	●	●	5	N/I	25	5	●●	G	●	cart	N/I	Sealocalc	Sealocrete Products Ltd
	●	●	●	●	●	10	220	6	3	●●	TG	●	5.0	5	Insulation sealant 20	Shell Composites Ltd
	●	●	●	●	●	N/I	80	6		●●	G	●	0.38	N/I	NC 323	Sigma Ltd
	●	●	●	●	●	N/I	80	25	6	—	G	●	0.33	N/I	Fixpaste R4	
●	●	●	●	●	5	60	25	5	●●	G	●	0.38	7	Sikamastic GP	Sika Ltd	
●	●	●	●	●	5	60	10	1	●	G	●●	0.36	10	GP Mastic	Unibond Ltd	
●	●	●	●	●	10	50	20	10	●●	G	●	0.4	10	Pam 20 GP Mastic	Vallance & Co Ltd	
ブチル	●	●	●	●	●	10	100	20	5	●	G	●●	0.38	20	Glastion 239	Kelseal Ltd
	●	●	●	●	●	15	130	15	2	●	G	●	0.39	8	238	
	●	●	●	●	●	N/I	N/I	N/I	—	—	G	●	0.38	N/I	807	Sigma Ltd
	●	●	●	●	●	20	80	25	6	●●	G	●	0.38	10	Building mastic <sup>1</sup>	Sovereign Chem Industries Ltd
			●	●	12	160	6	3	●●	TG	—	5	5	Insulation Sealant 202	Shell Composites Ltd	
ブチルゴム (架橋)	●	●	●	●	●	15	120	20	10	●●	G	●	0.32	15	Secoflex	Expandite Ltd
	●	●	●	●	●	20	130	15	2	●●	G	●	0.28	15	Kelbond	Kelseal Ltd
ネオプレン系	●	●	●	●	●	5	90	10	1	●	G	●	0.36	20	Unilast	Unibond Ltd
アクリル系 (エマルジョン)	●	●	●	●	●	40	N/I	N/I	N/I		TG	●	0.5 to 5.0	10	Easylite white mastic	BC Products Ltd
	●	●	●	●	●	25	N/I	10	3	●	G	●●	0.3	10	Wash fibres	Carr's Building Products
	●	●	●	●	●	10	130	25	6	●	G	●●	0.32	15	Nitoseal 123	Chemical Building Products Ltd
	●	●	●	●	●	10	92	25	6	●●	G	●●	0.38	10	Painters caulk	Hanway Building Products Ltd
	●	●	●	●	●	10	60	25	6	●●	G	●	0.37	5	Isoseal	Shell Composites Ltd
	●	●	●	●	●	6	80	10			G	●	0.33	N/I	AC11	Sigma Ltd

表Ⅷ 目地仕上げ用マスチック(前頁のつづき)

種類	推せんされる用途						仕様詳細						商品名	製造業者				
	現場塗装木枠	現場塗装金属枠	処理木枠	陽酸化アルミ枠	工場塗装金属枠	内装枠および間仕切り	目地動き追従性(%)	使用可能温度(℃)	縦・突合せ目地・目地幅(mm)	プライマー ●→(特定被覆体不要) ●●→(不要)	施工方法 G(ガン) T(ヘラ・コテ) 後塗装 ●(推せんできず) ●●(可能) ●●●(塗装すべき)	梱包(リットル)			推定耐用年数			
アクリル系 (エマルジョン)	●	●	●	●	●	●	15	127	15	6	●	●	G	●	0.37	15	Tremfill	Tremco Ltd
	●	●	●	●	●	●	12	90	12	1	●	●	G	●	0.36	20	Unimast	Unibond Ltd
	●	●	●	●	●	●	15	70	20	6	●	●	G	●	0.4	15	V70 Acrylic	Vallance & Co Ltd
アクリル系 (溶剤タイプ)	●	●	●	●	●	●	20	130	18	6	●	●	G	●	0.4	15	Arbocrylic	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	7.5	120	12	6	●	●	G	●	0.4	25	PR 12-100	Berger Chemicals
	●	●	●	●	●	●	10	80	10		—		G	●	0.33	N/I	AC10	Sigma Ltd
ポリサル ファイド (2成分形)	●	●	●	●	●	●	25	125	20	6	●	●	G	●	0.37	20	Mono-lasto-meric	Tremco Ltd
	●	●	●	●	●	●	35	137	25	6	●	●	G	●	0.4	20	Arbokol 2000	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	120	50	5	●	●	G	●	2.0	25	Thioflex 600	Expandite Ltd
ポリサル ファイド (1成分形)	●	●	●	●	●	●	50	60	25	6	—	—	G	—	2.0	25	Rubbokul	Ralli Bondite Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	130	25	6	●	●	G	●	0.4	25	Arboitol 1000	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	12.5	70	25	6	●	●	G	—	0.38	20	Monopol	Evode Ltd
ポリウレタン (1成分形)	●	●	●	●	●	●	15	100	15	5	—	—	G	●	0.32	25	Thioflex one	Expandite Ltd
	●	●	●	●	●	●	20	60	20	6	—	—	G	—	0.4	20	Rubbokul	Ralli Bondite Ltd
	● <sup>2</sup>	● <sup>2</sup>	● <sup>2</sup>	●	●	● <sup>2</sup>	25	80	25	6	●	●	G	●	0.4	25	Vulkem 116	Duroplas Building Products
シリコーン (高モジュラス)	●	●	●	●	●	●	20	100	25	5	—	—	G	—	0.32	20	Secoseal PU	Expandite Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	110	30	5	●	●	G	●	0.32	20	Sikaflex IA	Sika Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	260	50	5	●	●	G	—	0.32	25	Arbosil 1081	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
シリコーン (中モジュラス)	●	●	●	●	●	●	25	235	25	6	●	●	G	●	0.32	25	Nitroseal 125	Chemical Building Products Ltd
	●	●	●	●	●	●	N/I	N/I	N/I	6	●	●	G	—	0.33	N/I	Silicone	Sigma Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	200	50	3	●	●	G	—	0.31	25	1200 GE	Vallance & Co Ltd
シリコーン (低モジュラス)	●	●	●	●	●	●	25	200	50	3	●	●	G	—	0.31	25	1702 GE	Vallance & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	247	20	3	—	—	G	—	0.32	20	Proglaze	Tremco Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	260	25	3	●	●	G	—	0.32	20	ICI Ltd	ICI Ltd
シリコーン (低モジュラス)	●	●	●	●	●	●	67	180	50	5	●	●	G	—	0.32	25	Arbosil 1090	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	150	20	6	●	●	G	—	0.32	20	Dow Corning DC 790	Evode Ltd
	● <sup>2</sup>	● <sup>2</sup>	●	●	●	●	25	120	40	5	●	●	G	—	0.32	25	Silicone 44	Expandite Ltd
	●	●	●	●	●	●	20	80	15	3	—	—	G	—	0.3	25	Rallisil	Ralli Bondite Ltd
	●	●	●	●	●	●	25	100	50	6	●	●	G	—	0.31	25	Silicone sealant	Servicised Vallance & Co Ltd
	●	●	●	●	●	●	50	120	50	3	●	●	G	—	0.31	25		Vallance & Co Ltd

注)  
1 ポリブタジエン  
2 塗装後施工

表Ⅹ 動きの遅いエキスパンションジョイント用シーラント

種類	目地動き追従性 (%)	使用可能温度 (°C)	仕様詳細				商品名	製造業者			
			縦・突き合せ目地・目地幅 (mm)	プライマー (場合により要)	施工方法 T (ヘラ) G (ガン)	後塗装 (推せんできず) (可能) (塗装すべき)			推奨耐用年数 (年)		
油性	10	50	Max 20 Min 10	● ●	G	●	0-4	10	Pam 20 GP mastic	Vallance & Co Ltd	
ゴムビチューメン	12	80	50	40	—	H	—	12-5 <sup>1</sup>	5	Jointfill A2	Shell Composites Ltd
	30	80	50	10	—	H	—	12-5 <sup>1</sup>	5	Cariphattess A1	
ネオプレン系	20	130	15	5	●	G	●	0-28	15	Kelbond	Kelseal Ltd
アクリル系 (エマルジョン)	40	N/I	N/I	12	●	TG	●	0-4-5-0	10	Easytile White	BC Products Ltd
	12	90	10	1	●	G	●	0-36	20	Unimast	Unibond Ltd
	15	70	20	10	●	G	●	0-4	10	V70 acrylic	Vallance & Co Ltd
アクリル系 (溶剤型)	20	130	18	6	● ●	G	●	0-4	15	Arbocrylic	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	15	90	20	6	● ●	G	● ●	0-38	20	Solvented acrylic	Hanway Building Products Ltd
	25	125	20	6	● ●	G	●	0-37	20	Mono-lasto-meric	Tremco Ltd
ポリサルファイド (2成分形)	35	137	25 <sup>1</sup>	6	●	G	●	0-4 & 1-2	20	Arbokol 2000	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	18	135	25	6	●	TG	●	1-5	25	Rubber calk 150	Berger Chemicals
	25	120	25	6	—	G	●	2-5 & 4-0	25	Nitroseal 215	Chemical Building Products Ltd
	18	80	37 <sup>2</sup>	6	●	G	—	1-0 & 2-0	20	Polevo	Evode Ltd
	25	120	50	5	●	G	●	2-0	25	Thioflex 600	Expandite Ltd
	25	N/I	N/I	—	—	G	—	2-5 & 0-45	25	Palesite Plastic 066	Inertol Co Ltd
	50	130	25	5	—	GT	●	1-5	25	Kelseal 2pt PSR	Kelseal Ltd
	18	N/I	25	5	—	G	—	2-25	N/I	Calkite 2pt	Sealocrete Ltd
	18	N/I	25	5	—	G	—	2-25	N/I	Calkite Dio	
	25	100	50	10	—	TG	● ●	1-6	25	Vertiseal	Servicised
	20	N/I	N/I	N/I	—	N/I	●	N/I	N/I	Thiokol 40	Sigma Ltd
	25	120	30	5	—	G	●	2-2	15	Si Kalastic	Sika Ltd
	35	140	25	6	●	G	●	1-5	20	Lasto-meric	Tremco Ltd
ポリサルファイド (1成分形)	25	130	25	6	●	G	●	0-4	20	Arbokol 1000	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	18	135	25	6	●	G	●	0-38	25	Rubber Calk 5000	Berger Chemicals
	13	70	25	6	●	G	—	0-38	20	Monopol	Evode Ltd
	20	100	15	5	—	G	●	0-32	25	Thioflex One	Expandite Ltd
	50	60	20	6	—	G	—	0-4	20	Rubbokol 1	Ralli
	50	N/I	25	5	—	G	—	0-4	N/I	Calkite (1pt)	Bondite Ltd Sealocrete
ポリウレタン (2成分形)	18	135	25	6	—	TG	●	1-5	25	Flextron	Berger Chemicals
	20	115	25	6	—	G	●	2-5	25	Nitroseal 221	Chemical Building Products Ltd
	20	130	25 <sup>2</sup>	6	—	G	—	4-0 & 2-5	25	Nitroseal PX 220, 230, 235	
	50	80 <sup>3</sup>	N/I	N/I	● ●	G	● ●	4-0	10	Elastomeric joint sealant	Floorlife-Andek Ltd
	25	N/I	N/I	N/I	●	G	—	2-5 & 0-5	25	Palesit plastic 038	Inertol Co Ltd
	25	110	N/I	N/I	—	G	● ●	3-0	20	—	Quentsplatt Ltd
	20	N/I	N/I	N/I	—	N/I	—	N/I	N/I	Sigma Ltd	
	25	85	40	5	●	G	—	2-2	15	Sikraflex T68NS	Sika Ltd
ポリウレタン (1成分形)	-20	N/I	37	6	● ●	G	●	0-3 & 4-0	25	Vulkorn 116	Divaplus Building Products
	-20	N/I	37	6	●	G	●	4-0	25	Vulkem 45	
	20	100	25	5	—	G	—	0-32	20	Secoseal PU	Expandite Ltd
	15	N/I	N/I	N/I	●	G	● ●	0-32	15	Palesit plastic 033	Inertol Co Ltd
	25	110	30	5	●	G	●	0-32, 2-5	20	Sikaflex 1A	Sika Ltd
	15	100	30	5	●	G	●	0-32	20	Sikaflex 11FC	
シリコーン (高モジュラス)	12	135	25	6	●	GT	—	0-32	25	Silicone 381	Berger Chemicals
	25	235	25	6	●	GT	●	0-32	25	Nitroseal 125	Chemical Building Products Ltd

表区 動きの遅いエキスパンションジョイント用シーラント (前頁のつづき)

種類	仕様詳細										商品名	製造業者
	目地動き追従性 (%)	使用可能温度 (°C)	縦・突き合せ目地・目地幅 (mm)		プライマー (場合により要) (不要)		施工方法 T (ヘラ) G (ガン)	後塗装 (推せんできず) (可能) (塗装すべき)	梱包 (リットル)	推奨耐用年数 (年)		
			Max	Min								
シリコン (高モジュラス)	10	200	25	3	●	G	● ●	0.33	25	Paintable sealant Bath, house and marine	Dow Corning Ltd	
	25	250	25	3	●	G	—	0.33	10			
	15	160	40	5	●	G	● ●	0.32	25	Silicone 33 Silicone based 1200 construction 1700 sanitary	Expandite Ltd General Electrics	
		25	80	N/I	6	●	G	—	0.32			30
	13	250	25	6	●	G	—	0.38	20	Hansil 981	Hanway Building Products Ltd	
		25	260	25	3	●	G	—	0.32			20
	25	N/I	N/I	N/I	●	G	● ●	0.32 0.45	25	Silicone Palesit plastic 020	ICI Ltd Inertol Co Ltd	
	N/I	N/I	30	3	●	N/I	—	N/I	N/I	Silicone U	Sigma Ltd	
		25	240	25	5	●	G	—	0.32	15	Sika Sil	Sika Ltd
		25	200	50	3	●	G	—	0.31	25	1200 GE	Vallance & Co Ltd
25		200	50	3	●	G	—	0.31	25	1702 GE		
シリコン (低モジュラス)		67	170	50	5	●	G	—	0.32	25	Arbosil 1090	Adshead Ratcliffe & Co Ltd
	600	N/I	12	3	●	G	—	0.33	N/I	Baljoint Sealant	Building Adhesives Ltd	
	50	200	30	5	●	G	—	0.33	10	790	Dow Corning	
	25	120	40	5	●	G	—	0.32	25	Silicone 44	Expandite Ltd	
25	150	25	6	●	G	—	0.31	25	Silpruf	Vallance & Co Ltd		
エポキシ (フレキシブル)	10	130	18	3	● ●	G	● ●	0.21 0.4	20	Arbokol plastomer Expoflex 800	Adshead Ratcliffe & Co Ltd Expandite Ltd	
	10	90	25	5	● ●	G	● ●	2	20			
エポキシ (ハイバロン)	50	100	N/I	N/I	●	T <sup>4</sup>	●	N.1	20	Sikadur Combiflex	Sika Ltd	
エポキシ (変性2成分形)	50	N/I	25	12	—	T <sup>5</sup>	N.1	1.0 to 25.0	10	CXL 120	Colebrand Ltd	
エポキシ / (ポリウレタン)	50	125	50	6	●	G	●	2.5	25	Dymeric	Tremco Ltd	

注)  
 1 最小深さ20mm  
 2 広幅目地は重ね打ち  
 3 最低温度0°C  
 4 ブラシ施工可能  
 5 ポンプ施工可能

表X 動きの速いエキスパンションジョイント用シーラント

種類	仕様詳細										商品名	製造業者
	目地動き追従性 (%)	使用可能温度 (°C)	縦・突き合せ目地・目地幅 (mm)		プライマー (場合により要) (不要)		施工方法 T (ヘラ) G (ガン)	後塗装 (推せんできず) (可能) (塗装すべき)	梱包 (リットル)	推奨耐用年数 (年)		
			Max	Min								
アクリル系 (エマルジョン)	12	90	10	1	●	G	●	0.36	20	Unimast	Unibond Ltd	
アクリル系 (溶剤型)	15	90	20	6	● ●	G	● ●	0.38	20	Solvented acrylic	Hanway Building Products Ltd	
ポリサルファイド (2成分形)	35	137	25 <sup>1</sup>	6	●	G	●	0.4 1.2	20	Arbokol 2000 Nitoseal 215	Adshead Ratcliffe & Co Ltd Chemical Building Products Ltd	
	25	120	25	6	—	G	●	2.5 4.0	25			
18	80	37 <sup>1</sup>	6	●	G	—	—	1.0 2.0	20	Polevo	Evode Ltd	
	25	N/I	N/I	—	G	—	—	0.45 2.5	25			
										Palesit plastic 066	Inertol Co Ltd	

表X 動きの速いエキスパンションジョイント用シーラント (前頁のつづき)

種類	仕様詳細										商品名	製造業者
	目地動き追従性(%)	使用可能温度(℃)	縦・突み合せ目地・目地幅(mm)		プライマー (場合により要) (不要)		施工方法	後塗 (推せんできず) (可能) (塗すべき)		梱包(リットル)		
		Max	Min									
	50	130	25	5	—	GT	●	1.5	25	Kelseal 2pt PSR	Kelseal Ltd	
	50	60	25	6	—	G	—	2.0	25	Rubbokol	Ralli	
	18	N/I	25	5	—	G	—	2.25	N/I	Calktite 2pt	Bondite Ltd	
	18	N/I	25	5	—	G	—	2.25	N/I	Calktite bio	Sealocrete Ltd	
	25	100	50	10	—	GT	● ●	1.6	25	Vertiseal	Servicised	
	20	N/I	N/I	N/I	—	N/I	—	N/I	N/I	Thickol 40	Sigma Ltd	
	35	140	25	6	●	G	●	1.5	20	Castomeric	Tremco Ltd	
	25	120	50	5	●	G	●	2.0	25	Thioflex 600	Expandite Ltd	
ポリサル ファイド (1成分形)	13	70	25	6	●	G	●	0.38	20	Monopol	Evode Ltd	
	50	130	25	5	●	G	●	0.38	25	Kelbond	Kelseal Ltd	
ポリウレタン (2成分形)	50	80 <sup>2</sup>	N/I	N/I	● ●	G	● ●	4.0	10	Elastomeric joint sealant	Floorlife-Andek Ltd	
	25	N/I	N/I	N/I	●	G	—	2.5 & 0.45	25	Palesit plastic 038	Inertol Co Ltd	
	20	N/I	N/I	N/I	—	N/I	—	N/I	N/I	Polyurethane	Sigma Ltd	
	25	85	40	5	●	G	—	2.2	15	Silaflex T68 NS	Sika Ltd	
ポリウレタン (1成分形)	-20	N/I	37	6	● ●	G	●	0.3, 4.0	25	Vulkom 116	Duraplas Building Products Ltd	
	-20	N/I	37	6	●	G	●	4.0	25	Vulkom 45		
	20	100	25	5	—	G	—	0.32	20	Secoseal PU	Expandite Ltd	
	15	N/I	N/I	N/I	●	G	● ●	0.32	15	Palesit plastic 033	Inertol Co Ltd	
	25	110	30	5	●	G	●	0.32, 2.5	20	Sikaflex 1A	Sika Ltd	
	15	100	30	5	●	G	●	0.32	20	Sikaflex 11FC		
シリコーン (高モジュラス)	25	260	50	5	●	G	—	0.32	25	Arbosil 1081	Adshead Ratcliffe & Co Ltd	
	10	200	25	3	●	G	● ●	0.33	25	Paintable sealant	Dow Corning Ltd	
	25	250	25	3	●	G	—	0.33	10	Bath, house & marine		
	15	160	40	5	●	G	—	0.32	25	Silicone 33	Expandite Ltd	
	25	80	N/I	6	●	G	●	0.32	30	Silicone base 1200 construction 1700 sanitary	General Electric	
	13	250	25	6	●	G	—	0.38	20	Hansil 981	Hanway Building Products Ltd	
	13	250	25	6	●	G	—	0.38	20	Hansil 985	Products Ltd	
	25	260	25	3	●	G	—	0.32	20	Silicone	ICI Ltd	
	25	N/I	N/I	N/I	●	G	● ●	0.32, 0.45	25	Palesit plastic 020	Inertol Co Ltd	
	50	80	15	3	—	G	—	0.3	25	Rubbokol	Ralli	
	N/I	N/I	30	3	—	N/I	—	N/I	N/I	Silicone U	Bondite Ltd	
	25	240	25	5	●	G	—	0.32	15	Sikasil	Sigma Ltd	
	25	235	20	3	—	G	—	0.32	20	Proglaze	Sika Ltd	
シリコーン (低モジュラス)	67	170	50	5	●	G	●	0.32	25	Arbosie 1090	Tremco Ltd	
	50	200	30	5	●	G	—	0.33	10	790	Adshead Ratcliffe & Co Ltd	
	25	120	40	5	●	G	—	0.32	25	Silicone 44	Dow Corning Ltd	
	50	94	N/I	6	●	G	—	0.31	30	Silpruf	Expandite Ltd	
	25	150	25	6	●	G	—	0.38	20	Hansil 990	General Electric	
	50	120	50	3	●	G	—	0.31	25	Silpruf	Hanway Building Products Ltd	
エポキシ (ハイバロン)	50	100	N/I	N/I	●	T <sup>3</sup>	●	N/I	20	Sikadur Combiflex	Vallance & Co Ltd	
エポキシ (変性2成分形)	50	N/I	25	12	—	T <sup>4</sup>	N/I	1.0 to 2.5	10	CXL 120	Sika Ltd	
エポキシ (ポリウレタン)	50	125	50	6	●	G	●	2.5	25	Dymeric	Colebrand Ltd	
											Tremfo Ltd	

注)

1 幅広目地は重ね打ち  
2 最低温度 0℃

3 ブラシ施工可能  
4 ポンプ施工可能



12. 高強度コンクリートモルタルあるいは珪カルレンガは収縮クラックを生じやすい。エキスパンションジョイントがこれを防止できる。

### 3.2 シーリング材製造業者名簿

Adshead Ratcliff & Co Ltd,  
Derby Rd,  
Belper,  
Derby DE5 1WJ  
(077-382 2891)

B.C. Products (Bondcrete) Ltd,  
29 Eve Road,  
Woking, Surrey  
(Woking 61719)

Berger Chemicals,  
Portland Road,  
Newcastle upon Tyne NE2 1BL  
(0632 25151)

Building Adhesives Limited,  
Longton Road,  
Trentham,  
Stoke-on-Trent ST4 8JB  
(0782 659921)

Carr's Building Products,  
Alveduvdi Road,  
West Heath,  
Birmingham B31 3PG  
(021-475 5245)

Chemical Building Products Ltd,  
Cleveland Road,  
Hemel Hempstead,  
Hertfordshire HP2 7DL  
(Telford (0952) 618021)

Colebrand,  
Colebrand House,  
20 Warwick Street,  
Regent Street,  
London W1R 6BE  
(01-439 9191)

Dow Corning Limited,  
Barry,  
Glamorgan CF6 7Y1.  
(Barry 732350)

Duraplas Building Products.  
Lutterworth,  
Leics  
(04555 56131)

Evode Ltd,  
Common Road,  
Stafford ST16 3EH  
(Stafford (0785) 57755)

Expandite Limited,  
1-9 Chase Road,  
London NW10 6PS  
(01-965 8877)

Floorlife-Andek Ltd,  
59 Lansdowne Place, Hove,  
Sussex BN3 1JB  
(0273 72227/8)

General Electrics Silicones,  
Silicone Products,  
Division of Engineering  
Polymers Ltd,  
Silicone House, Cranfield Road,  
Lostock, Nr Bolton, Lancs  
(0204 692531)

Hanway Building Products Ltd,  
Wintersall's Road,  
Byfleet, Weybridge,  
Surrey KT14 7LH  
(09323 51911)

Imperial Chemical Industries Ltd,  
Organics Division,

Hexagon House, Blackley,  
Manchester M9 3DA  
(061-740 1460)

Inertol Company Ltd,  
PO Box No 2, The Brow,  
Burgess Hill, W Sussex RH15 9NE  
(04446 4356 i)

Kelseal Ltd,  
Kelsey House,  
Wood Lane End,  
Hemel Hempstead,  
Herts

Quentsplass Ltd,  
Wetherby,  
W Yorkshire LS23 7BZ  
(0937 843388)

Ralli Bondite Ltd,  
Arnside Road,  
Waterlooville, Hants  
(07014 51321)

Sealocrete Group Sales Ltd,  
Atlantic Works,  
Oakley Road,  
Southampton  
(0703 777331)

Servicised,  
2 Caxton Street,  
London SW1H 0QJ  
(01-222 1244)

Shell Composites Ltd,  
Galvin Road,  
Trading Estate,  
Slough SL1 4DL  
(Slough 21261)

Sigma Coatings Ltd,  
Castle Mills,  
Bucks  
(02802 2081)

Sika Ltd,  
Watchmead,  
Welwyn Garden City,  
Herts AL7 1BQ  
(Welwyn Garden 29241/2/3/4)

Sovereign Chemical Ind Ltd,  
Park Road,  
Barrow-in-Furness,  
Cumbria  
(Barrow 25045) (STD 0229)

Stanleys (Stratford) Ltd,  
Warton Road,  
London E15 2JY  
(01-534 2145)

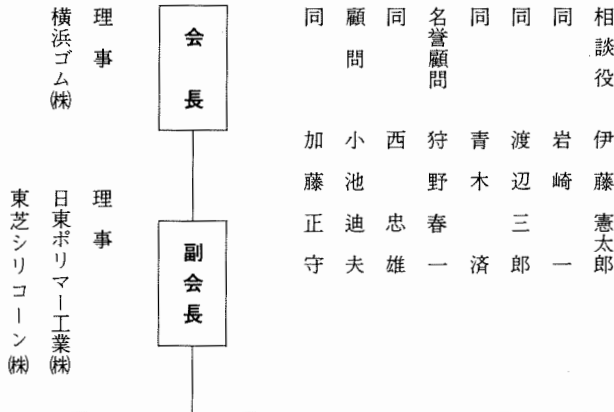
Tremco Ltd,  
Key House,  
Horton Road,  
West Drayton, Middlesex  
(West Drayton 40641)

Unibond Ltd,  
Tuscam Way,  
Camberley,  
Surrey  
(Camberley 63135)

Vallance & Co (M) Ltd,  
Queens Road,  
Morley,  
Leeds LS27 0QJ  
(Morley (0532) 537211)

# 昭和56年度 新理事・役員候補決まる!

## 機構表(案)



- 理事 信越化学工業(株) (株)
- 同 サンスター化学(株)
- 同 セメダイン(株)
- 同 トーレ・シリコン(株)
- 同 日本添加剤工業(株)
- 同 ポスチックジャパン(株)
- 同 昭和石油アスファルト(株)
- 同 (株)エービーシー商会
- 同 山内ゴム工業(株)
- 同 保土谷建材工業(株)
- 同 カネボウ・エヌエスシー(株)
- 同 東京支部長(未定) *加藤 清孝*
- 同 名古屋支部長(未定) *坂田 加代子*
- 同 大阪支部長(テイパ化工)
- 同 福岡支部長(信越化学工業(株))
- 同 世界長(株)
- 同 コニシ(株)
- 同 三洋工業(株)
- 同 北海道支部長(未定) *トーレ・シリコン*
- 同 仙台支部長(未定) *森田 孝*
- 同 広島支部長(未定) *セメダイン*

### 委員会構成表

委員会	委員長	副委員長
総務委員会	信越化学工業(株)	横浜ゴム(株)
技術委員会	昭和石油アスファルト(株)	横浜ゴム(株)
広報委員会	ポスチックジャパン(株)	日本添加剤工業(株)
調査委員会	サンスター化学(株)	東芝シリコン(株)
シーリング管理士検定委員会	セメダイン(株)	トーレ・シリコン(株)

### 分科会構成表

分科会	幹事	副幹事	会員数
シリコン分科会	トーレ・シリコン(株)	信越化学工業(株)	
変成シリコン分科会	カネボウ・エヌエスシー(株)	日本添加剤工業(株)	
ポリサルファイド分科会	(株)エービーシー商会	横浜ゴム(株)	
ポリウレタン分科会	保土谷建材工業(株)	サンスター化学(株)	
アクリル・SBR分科会	世界長(株)	日東ポリマー工業(株)	
ブチル分科会	山内ゴム工業(株)	コニシ(株)	
油性分科会	三洋工業(株)	三星産業(株)	

※なお、5月20日の第18回通常総会(東京代々木・東郷記念館)に、上記案が上程される予定である。

## ●本部の動き

- 10月16日…座談会“シーリングの補修とメンテナンス”  
出席者▶小林孝悌氏（碓建築技術事務所）鶴田裕氏（大成建設）荒井光興氏（西松建設）小野正氏（清水建設）操上弘昌氏（東シ協技術委員長）
- 10月17日…技術委員会：日本カーテンウォール工業会シーリング分科会、建築ガasket協会規格作成委員会の派遣委員による報告
- 10月22日…定例理事会：管理士受験資格の特別措置について
- 11月17日…定例理事会
- 11月19日…合同分科会：特別講演“ヨーロッパのシーリング事情”講師・鶴田裕氏（大成建設）
- 11月28日…技術委員会：管理士用テキストの原稿完了
- 12月18日…定例理事会：日本建築防災協会の「建築物とその周辺の防災対策調査委員会」への委員派遣を承認
- 12月26日…技術委員会：建設省に「建築工事施工監理指針改訂案」を答申
- 1月19日…広報委員会：シーリング18号発行
- 1月19日…定例理事会：日本建築学会「JASS8防水工事標準仕様書改定講習会」協賛の件承認。
- 1月19日…講演会及び顧問を囲む懇談会：小池迪夫先生（東工大）のシーリング材に関する講演、懇談会（1月20日 親睦ゴルフ）
- 1月26日…技術委員会：動暴露試験装置について（小池迪夫先生出席）
- 2月7日～10日…第4回シーリング管理士、第2回シーリング技術管理士講習ならびに試験
- 2月27日…定例理事会：次期理事役員候補選挙の開票、次期会長候補の互選。技能士（シーリング防水施工）委員会へ委員派遣の承認
- 3月17日…定例理事会：次期理事、役員候補の選出。第18回通常総会の開催決定（5月20日）  
JIS A5758対応状況調査の実施決定

## ●東京支部の動き

- 9月11日…支部会：都住の指定材料について
- 9月25日…合同懇談会：都住に対する保証、流通経路について

- 11月7日…支部臨時会議
- 1月14日…支部臨時総会
- 2月2日…支部幹事会
- 2月24日…材販懇談会
- 3月30日…JIS A 5758対応状況の調査（支部会員）

## ●大阪支部の動き

- 9月26日…幹事会
- 10月7日…材工幹事会
- 11月13日…材工懇談会
- 11月28日…幹事会
- 12月19日…幹事会
- 1月30日…幹事会
- 2月6日…支部懇談会（会長、調査委員長出席）
- 2月24日…幹事会：次期幹事候補の選出
- 3月4日…新旧幹事会：新役員候補決定

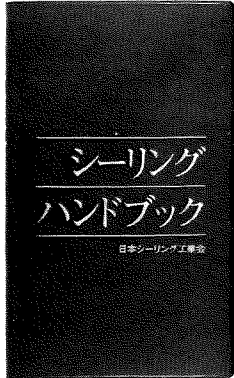
## ●福岡支部の動き

- 9月3日…合同幹事会：PR資料の配布先名簿の作成
- 10月7日…九三協との懇親ゴルフコンペ
- 11月5日…合同幹事会：技能検定への協力
- 11月12日…支部会：情報交換（調査正副委員長出席）
- 12月3日…材工懇親会
- 2月6日…合同幹事会
- 3月6日…合同幹事会：JIS A 5758の対応状況を九州地建に報告（13社）。次期幹事候補選挙の開票及び選出。56年度支部総会の開催決定（4月16日～17日）
- 4月6日…合同幹事会





## シーリングハンドブック (改訂版)



最近のシーリング情報  
をもりこみ、業界で大  
好評です。お申込みは  
日本シーリング工業会  
まで。  
頒布価格 600円

## 建築用シーリング材 シーリング管理士用 テキスト—1980—



内容も大幅に改訂  
関係者必読の書。  
頒布価格 4,500円

### ●資料頒布

## 建築の外壁に用いられる シーリング材の アグレマンに関する UEA tC (欧州建築技術アグレマン同盟) の指針

シーリング材も広く世界にその指  
針を求め、技術の研鑽を重ねてこ  
そ未来があるという観点より、こ  
れを翻訳、実費頒布しております。

## JIS A 5758 英文翻訳版

清水建設・鈴木敏文氏の英文翻訳  
版(個人訳)を実費配布。参考文  
献としてご利用ください。

## JIS A 5758 「建築用シーリング材」 引張試験用被着体 メーカーのご紹介

日本シーリング工業会では、標記被着体の良  
心的かつ安価なものをと種々検討いたし、下  
記(株)日本サンプルセンターをご紹介いたし  
ております。製品のご照会、ご注文につきま  
しては、同社にご直接連絡され、工業会の会  
員である旨お伝え下されば、特別価格にてご  
提供できることになっております。

(株)日本サンプルセンター  
〒102 東京都千代田区飯田橋4-7-11  
☎03-264-3513カクタス飯田橋ビル

## 建築用シーリング材の 標準色について

日本シーリング工業会では、現状の技術レベルで可能  
な範囲での各素材共通の標準色を設け、色と呼称の統一  
を計る目的で、日本色彩研究所の応援を求め、加盟会社  
の標準色を解析して、工業会としての基本色を定め、各  
社での十分な検討を経て、昭和52年9月表に示す標準色  
および限界色の基準値を設定するに至った。日本シーリ  
ング工業会では、今後ユーザーのご協力を得ながら、建  
築用シーリング材の標準色の設定を通じて、品質の維持  
向上および生産の効率化を計っていく計画である。

共通標準色および基材別標準色

呼称(色名)	ブラウン	ダーク ブラウン	ホワイト	グレー	ブラック	クリア	アルミ グレー
標準色(記号)注1	7.5 YR 4.5/3.5	7.5 YR 3.0/1.5	N 9.0	N 5.5	N 1.5	注)2 —	注)2 —
シリコン系	○	○	○	○	○	○	○
変成シリコン系	○	○	○	○	○	—	—
ポリオレフィン系	○	○	—	○	○	—	—
ポリウレタン系	—	—	—	○	○	—	—
アクリル系	—	—	○	○	—	—	—
S B R 系	—	—	○	○	—	—	—
ブチルゴム系	—	—	—	○	○	—	—
油性	—	—	—	○	—	—	—

注) 1 JIS Z 8721の三属性表示記号による。  
注) 2 クリア、アルミについては、別途基準を定める。

## 日本シーリング工業会の概要

### 性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー及び取扱業者が加入しており、全国に7支部を有する全国的組織であります。

### 事業

- シーリング管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連繫、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS、JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究

### 発行図書

- 機関紙「シーリング」(年1回)
- シーリングニュース(年3回)
- 建築用シーリング材とその正しい使い方
- シーリングハンドブック
- シーリング管理士用テキスト

### 関連業界刊行物の紹介

- 建設大臣官房官庁営繕部監修  
建築工事共通仕様書 昭和56年版  
昭和56年2月1日発行 定価 2,700円
- 日本建築学会編集著作  
建築工事標準仕様書・同解説 JASS 8, 1981  
昭和56年2月20日発行 定価 4,500円
- 東日本シーリング工事業協同組合編集  
シーリング防水工事の施工指針  
昭和55年12月10日発行 非売品
- 関西シーリング工事業協同組合編集  
シーリング防水工事標準施工仕様書  
昭和55年4月発行 非売品

## 日本シーリング工業会会員

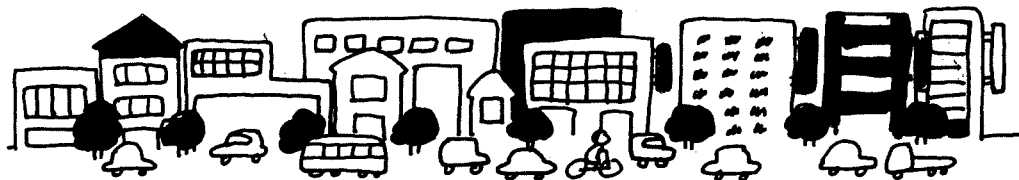
アサヒボンド工業(株)	(株)東京ボース工業社
(株)エービーシー商会	トーレ・シリコン(株)
オート化学工業(株)	(株)日興社
カネボウエヌエスシー(株)	日東化成工業(株)
関西パテ化工(株)	日東電気工業(株)
コニシ(株)	日東ポリマー工業(株)
サンスター化学(株)	日本合成ゴム(株)
三洋工業(株)	日本シーカ(株)
昭和石油アスファルト(株)	日本添加剤工業(株)
シャープ化学工業(株)	日本合成化学工業(株)
信越化学工業(株)	(株)日本化学研究所
新東洋合成(株)	日本ポリウレタン工業(株)
住友スリーエム(株)	(株)ノーベル樹脂化学
(株)スリーボンド	(株)ハイケミカル
製鉄化学工業(株)	(株)服部商店
世界長(株)	早川ゴム(株)
セメダイン(株)	保土谷建材工業(株)
ソニーケミカル(株)	ボスチックジャパン(株)
大日化成(株)	三井日曹ウレタン(株)
大和高分子工業(株)	三星産業(株)
武田薬品工業(株)	明星チャーチル(株)
テイパ化工(株)	山内ゴム工業(株)
東亜応用化工(有)	横浜ゴム(株)
東芝シリコン(株)	ラサ合成樹脂(株)

### ■賛助会員

旭ダウ(株)	東レチオコール(株)
小野田建材(株)	日本化成工業(株)
化研マテリアル(株)	日本石油化学(株)
鐘淵化学工業(株)	日本バックアップ工業(株)
鐘紡合成化学(株)	日本ペルノックス(株)
白石工業(株)	野口興産(株)
(株)新和商会	(株)野村事務所
大進商工(株)	フヨ一(株)
タカビシ化学(株)	(株)日本カーテンウォール工業会
ミキスタ工業(株)	

## 日本シーリング工業会の組織

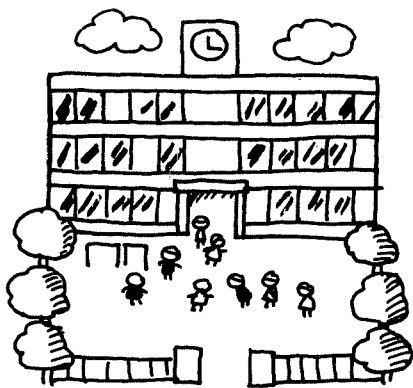
委員会	分科会	支部
総務委員会	シリコン分科会	北海道支部
技術委員会	変成シリコン分科会	仙台支部
広報委員会	ポリサルファイド分科会	東京支部
調査委員会	ポリウレタン分科会	名古屋支部
	アクリル・SBR分科会	大阪支部
	ブチル分科会	広島支部
シーリング検定委員会 管理士	油性分科会	福岡支部



## 表紙の言葉

蔞の臺(ふきのとう)、蔞(蔞)は古くはフフキと言った由。蔞は早春、土の中から親指大の青白色の芽を覗かせ、20cm程に伸びて黄白の花が開く。とりとめて格別に美しい花でもないが、ただ枯れ果てた茶褐の草の間から、萌え出る若菜の色に春の想いが浮かび、俳味をそそる。摘みとって佃煮にすると苦味があり、早春の香味を誘う野趣というものであろう。栽培もあるが野生のは、茎は硬いが香り豊かで、農家の屋敷によく宿根で自然に繁茂する。民謡に「この屋敷に茗荷(みょうが)や蔞や、冥加めでたや富貴繁昌〜オメダタヤ〜」と歌う。茗荷とともに、いづれも縁起のよいものとし、鶯声と共に春日を迎える。

梅見客 土産にもらう 蔞の臺  
 梅花から 桜につづく 蔞の花  
 水仙の 向き様々に 花さかり  
 鐘に明け 早や陽炎の ゆるやかに  
 春の海 光りて東風に 真帆片帆  
 (千青)



※今回は都合により、短歌・俳句の頁を休ませていただきました。

---

# 日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田 2-2-17 共同ビル

TEL 03 (255) 2841~2

企画制作・日本シーリング工業会広報委員会

---